



令和6年
7月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上雅規

令和六年度、一学期最後の月

七月がスタート

★一学期のまとめの時期、体調管理を万全に、暑い夏をしつかりと乗り切ろう。

校門のマリーゴールドが鮮やかに咲き誇っています。まるで子どもたちの日々の成長を表しているようです。早いもので一学期も最後の月、七月を迎えました。例年よりかなり遅い梅雨入りとなりましたが、本格的な暑さも厳しくなってきました。六月十九日にはプール開きもしましたが、熱中症にも益々注意が必要な時期となってきます。体調管理を万全にし、乗り切っていきたいと思えます。

七月といえば、一学期のまとめの時期です。暑くなると、どうしても気持ちさが萎えてしまいがちです。生活にメリハリをつけるために、「あいさつ」「姿勢」「掃除」「履き物揃え」「言葉づかい」など、普段から心がけることを意識させていきたいと思えます。

六月十三日には、今年度二度目となるオープンスクール(学習参観・子育てセミナー「サイバー犯罪防止教室」)を実施いたしましたところ、たくさんの方の保護者の皆様にご来校・ご参観・ご清聴いただきました。ありがとうございます。また、学校評議員様、教育委員様にもお越しいただき、学校の様子をご覧いただきました。子どもたちの様子については、明るく、元気に、そして、落ち着いて学んでいることをご感想として拝聴しました。今後も機会ある毎に学校を公開



1・2年生作品を「ふれあいマート」に展示

し、多くの方にご来校いただけるよう教育活動を進めたいと思えます。

旭丘中学校区小中一貫教育

★平成二十八年より実施、九年目を迎える今、さらなる進化・充実を目指して。

六月十九日、旭丘中学校区小中一貫教育運営協議会が行われました。この協議会は、旭丘中学校区四校(大部小学校・中番小学校・下東条小学校・旭丘中学校)の各PTA会長様、各校代表の学校評議員様にご参加いただき、旭丘中学校区小中一貫教育についてさまざまな立場から広く意見を求め、交流することを目的に開催しています。今年度の事業説明に加え、中学校の改築状況、小中連携ができる教育活動の推進、トライやるウィークの充実・発展、小中一貫教育が九力年で成長していく連続した教育活動であること等について、意見交流がされました。

ここで、この旭丘中学校区の小中一貫教育について少し説明をさせていただきます。まず、旭丘中学校区の小中一貫教育の目標は、「社会的自立への基盤づくり」「互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくり」です。次に、主な活動では、小中合同の教育活動(マラソン大会、中学校一日体験「授業・生活体験」、トライやる・ウィークの受け入れ)を実施しています。学校・職員間の活動では、相互授業参観と合同研修会を年間二回実施し、相互交流を深め、児童・生徒理解を図っています。教科部会では、重点教科等を設定し、教科の学習にも力を入れていきます。そして、組織運営面では、前述いたしました、小中一貫教育運営協議会(学校・学校評議員・PTA会長)を年間二回開催し、広

く学校以外からもご意見を求め、この教育に生かせるようにしています。小野市では、平成二十八年度より、市内全ての小・中学校が中学校区毎の小中一貫教育を実施しています。令和六年度は迎えて九年目となります。ある程度の期間を経た今、様々な面からも本教育について、検証し、改善を図りながら、その一層の深化・充実を目指したいと考えます。例年の学校評価においては、その認知度も進み、多くの方にご理解とご支援をいただいていることは誠にうれしい限りです。

パリオリピックが開幕へ!

★「する・みる・知る・支える」スポーツ文化・平和の祭典をご家族お揃いでお楽しみください。

創始者クーベルタンの故郷パリにおいて、一世紀ぶり三回目となる夏季オリピック大会が、まもなく開幕します。三十二競技三百二十九種目が実施され、開会式では、街の中心部を流れるセーヌ川が舞台となります。小野市出身の田中希実選手をはじめ、日本人選手の活躍やメダル争いが気になるところですね。それと共に、世界のトップアスリートのパフォーマンスや「世界中の人と交流して世界の平和に貢献しよう!」という、「クーベルタンが唱えた」オリピックにも目を向けていただくと、ひと味違う「知る・知る」になるのではないかと思います。現地とは七時間の時差がありますので、翌日のダイジェスト版を視聴するなど、寝不足に注意しながら楽しみたいものですね。

それでもやります中番小学校



☆☆裏面に「7月の行事予定」を掲載しております。ご確認ください☆☆